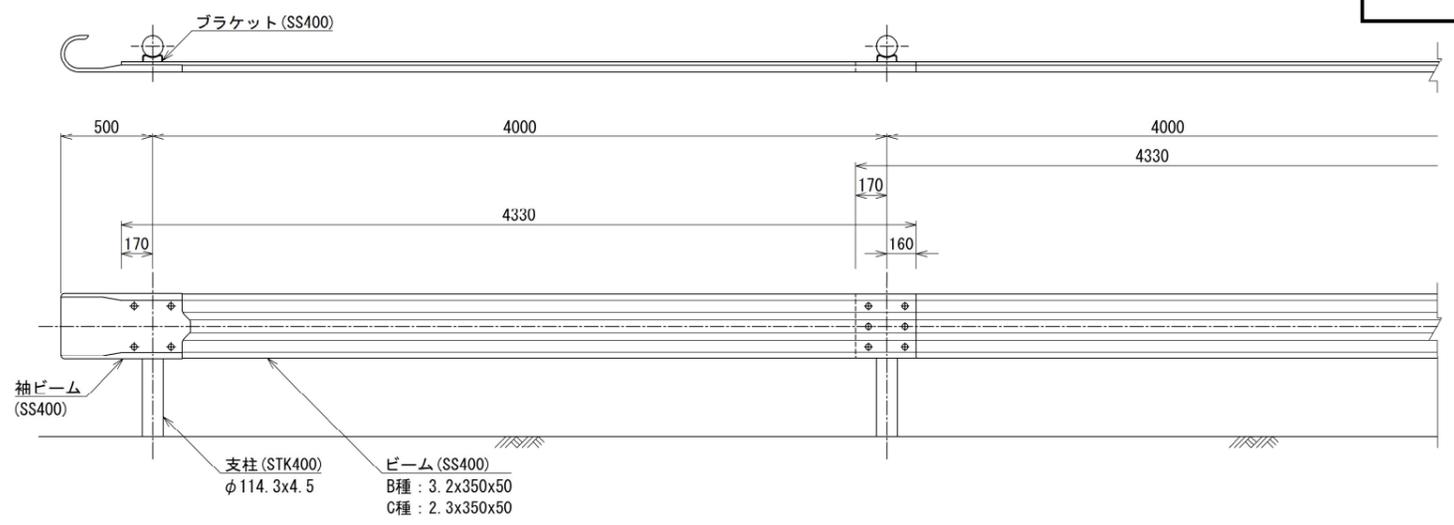


記号	Gr - () - 4E (種別) (支柱間隔) (土中用)
名称	路側用ガードレール

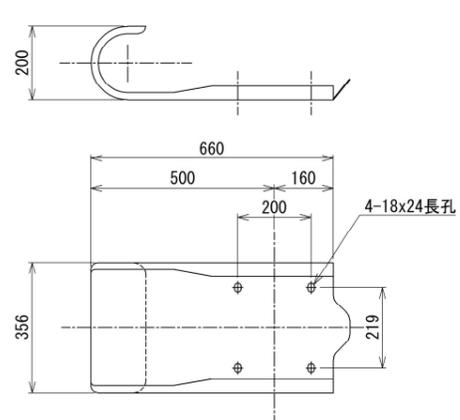
組立図



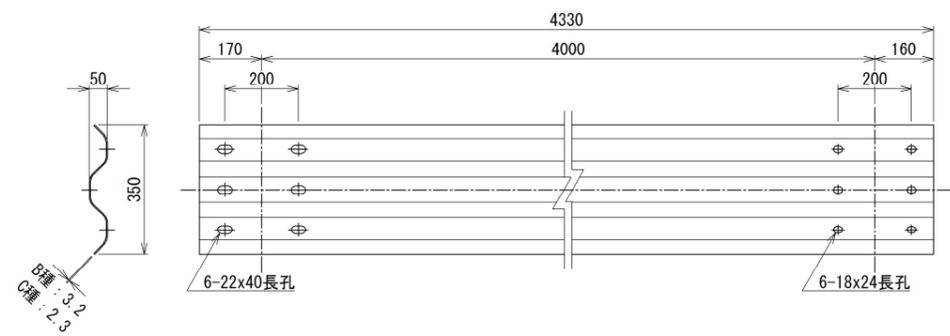
[仕様]

規格については最新の「防護柵の設置基準・同解説」(日本道路協会)に準拠すること。色彩の検討にあたっては、「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(道路のデザインに関する検討委員会、平成29年10月)」を参考に、景観色などを用いる場合は監督員との協議により決定すること。

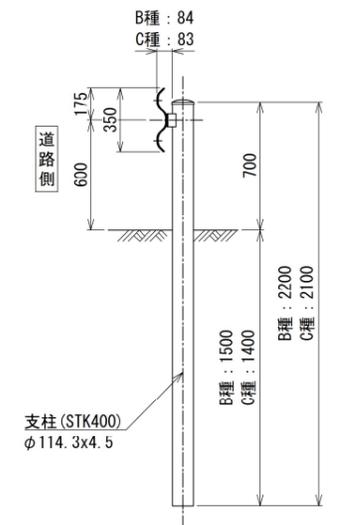
袖ビーム (SS400)



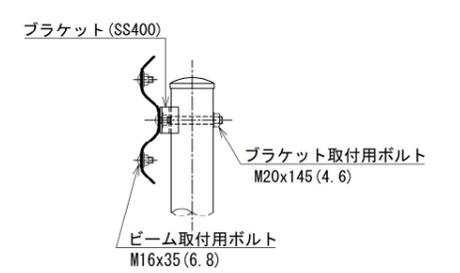
ビーム (SS400)



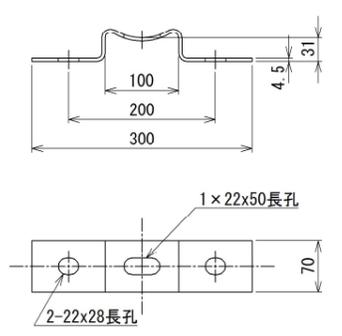
断面図



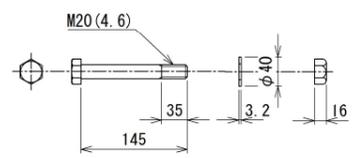
取付詳細図



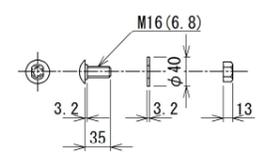
ブラケット (SS400)



ブラケット取付用ボルト



ビーム取付用ボルト

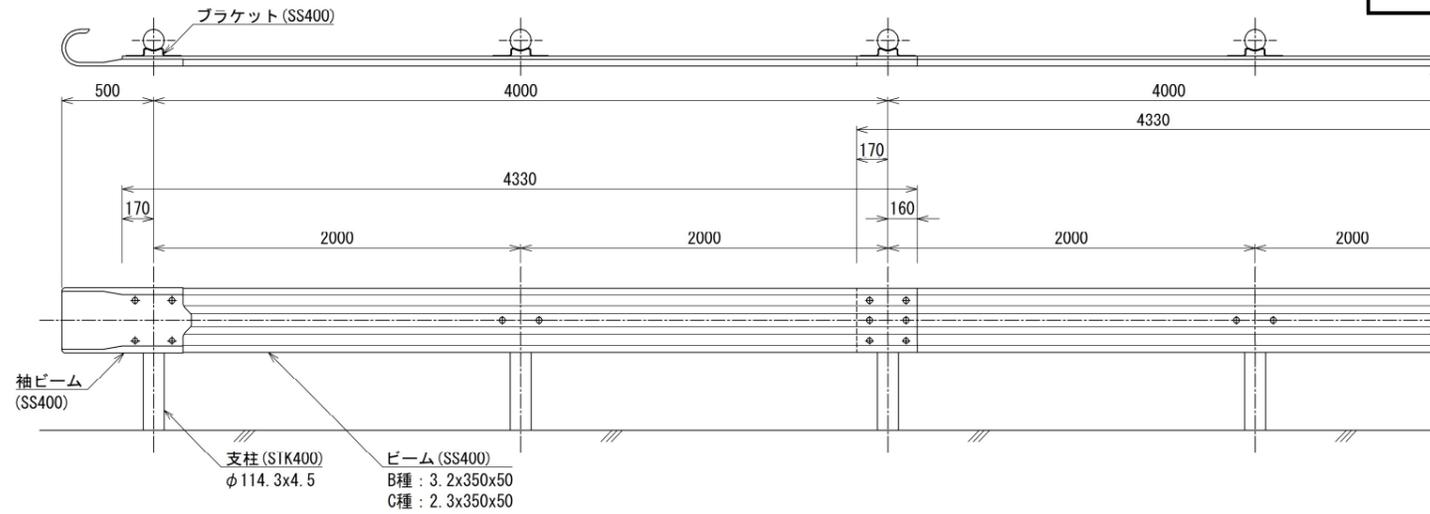


寸法表

規格	ビーム		支柱		ブラケット	参考 材料コード
	厚さ×幅×長さ (mm)	張出し量 (mm)	外形×厚さ×長さ (mm)	埋込み深さ (mm)	厚さ×幅×長さ (mm)	
Gr-B-4E	3.2×350×4330	84	φ114.3×4.5×2200	1500	4.5×70×300	Z004220003 (塗装) Z004220017 (メッキ)
Gr-C-4E	2.3×350×4330	83	φ114.3×4.5×2100	1400	4.5×70×300	Z004220005 (塗装)

記号	Gr - () - 2B (種別) (支柱間隔) (構造物用)
名称	路側用ガードレール

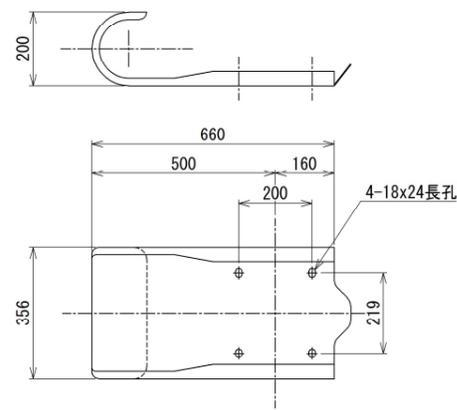
組立図



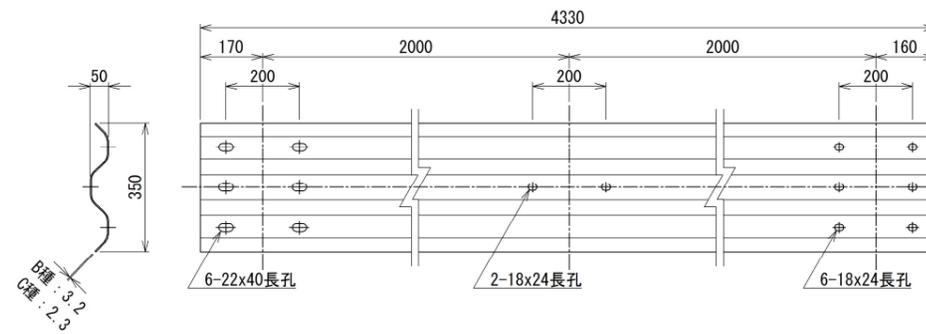
[仕様]

規格については最新の「防護柵の設置基準・同解説」(日本道路協会)に準拠すること。色彩の検討にあたっては、「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(道路のデザインに関する検討委員会、平成29年10月)」を参考に、景観色などを用いる場合は監督員との協議により決定すること。

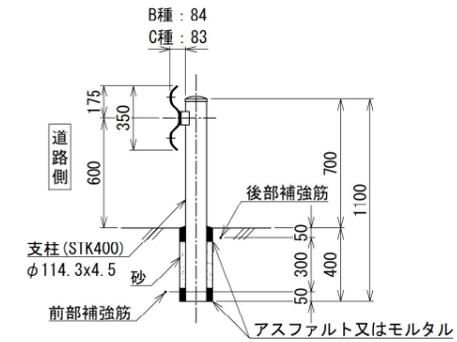
袖ビーム(SS400)



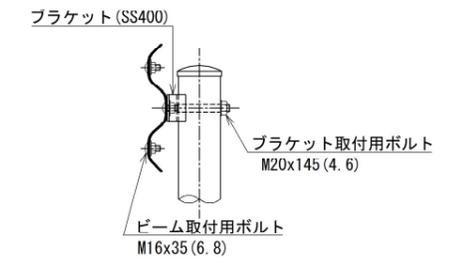
ビーム(SS400)



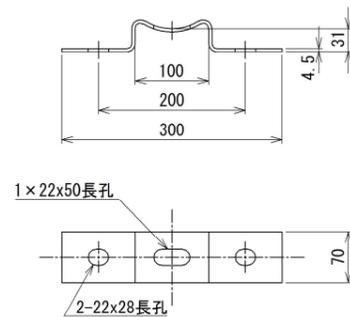
断面図



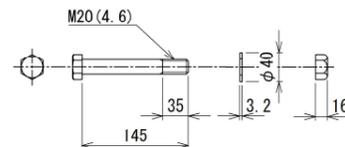
取付詳細図



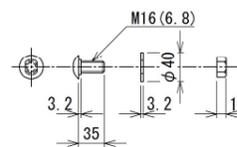
ブラケット(SS400)



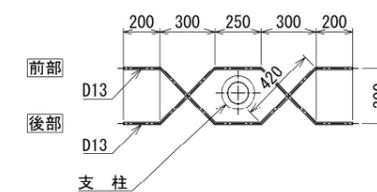
ブラケット取付用ボルト



ビーム取付用ボルト



補強筋参考図

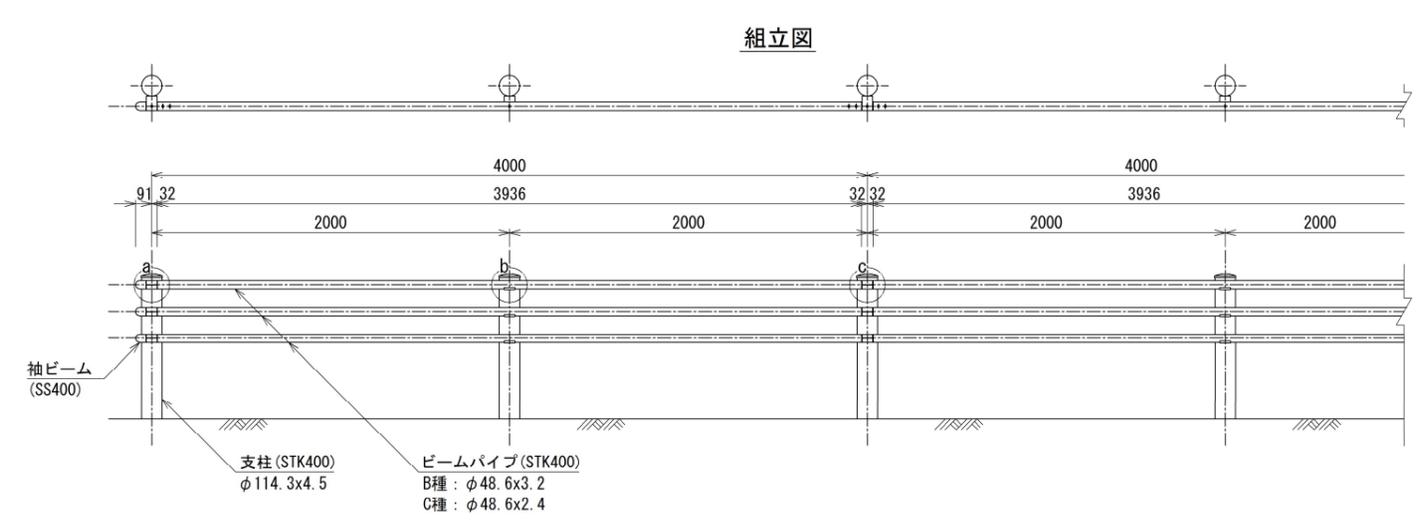


寸法表

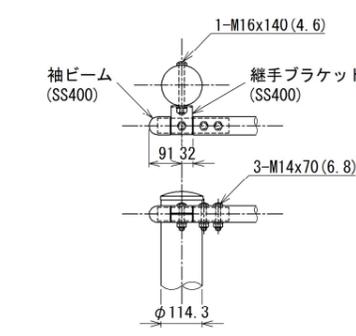
規格	ビーム		支柱		ブラケット	参考材料コード
	厚さ×幅×長さ(mm)	張出し量(mm)	外形×厚さ×長さ(mm)	埋込み深さ(mm)	厚さ×幅×長さ(mm)	
Gr-B-2B	3.2×350×4330	84	φ114.3×4.5×1100	400	4.5×70×300	Z004220010 (塗装) Z004220022 (メッキ)
Gr-C-2B	2.3×350×4330	83	φ114.3×4.5×1100	400	4.5×70×300	Z004220012 (塗装)

記号	Gp - ()p - 2E (種別) (支柱間隔) (土中用)
名称	歩車道境界用ガードパイプ

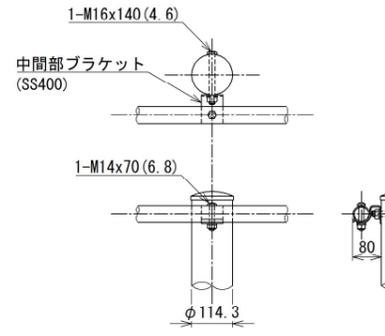
[仕様]
 規格については最新の「防護柵の設置基準・同解説」(日本道路協会)に準拠すること。
 色彩の検討にあたっては、「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(道路のデザインに関する検討委員会、平成29年10月)」を参考に、景観色などを用いる場合は監督員との協議により決定すること。



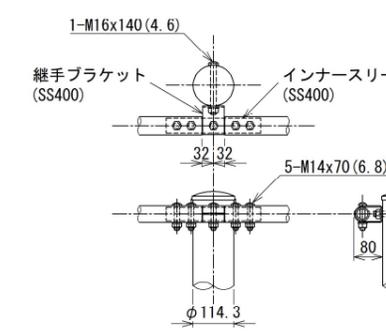
ビームパイプa(端部) (STK400)



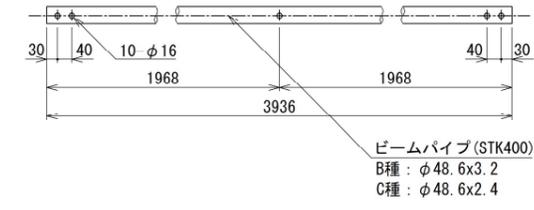
ビームパイプb(中間部) (STK400)



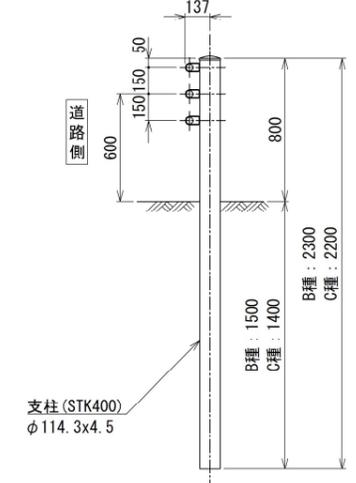
ビームパイプc(継手部) (STK400)



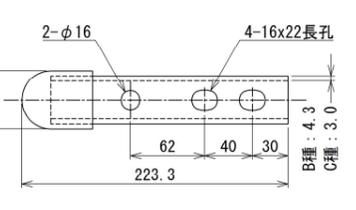
ビームパイプ (STK400)



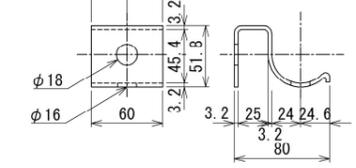
断面図



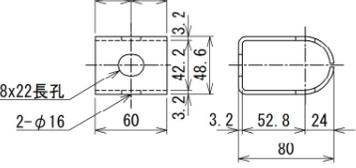
袖ビーム (SS400)



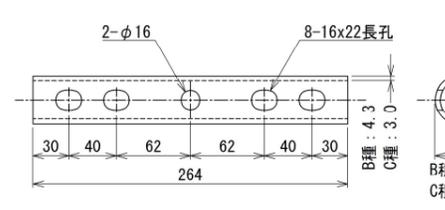
中間部プレート (SS400)



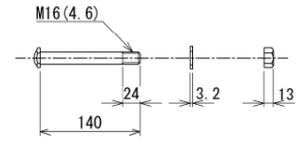
継手プレート (SS400)



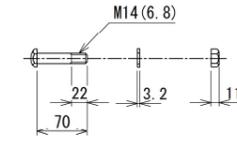
インナースリーブ (SS400)



プレート取付用ボルト



ビーム取付用ボルト

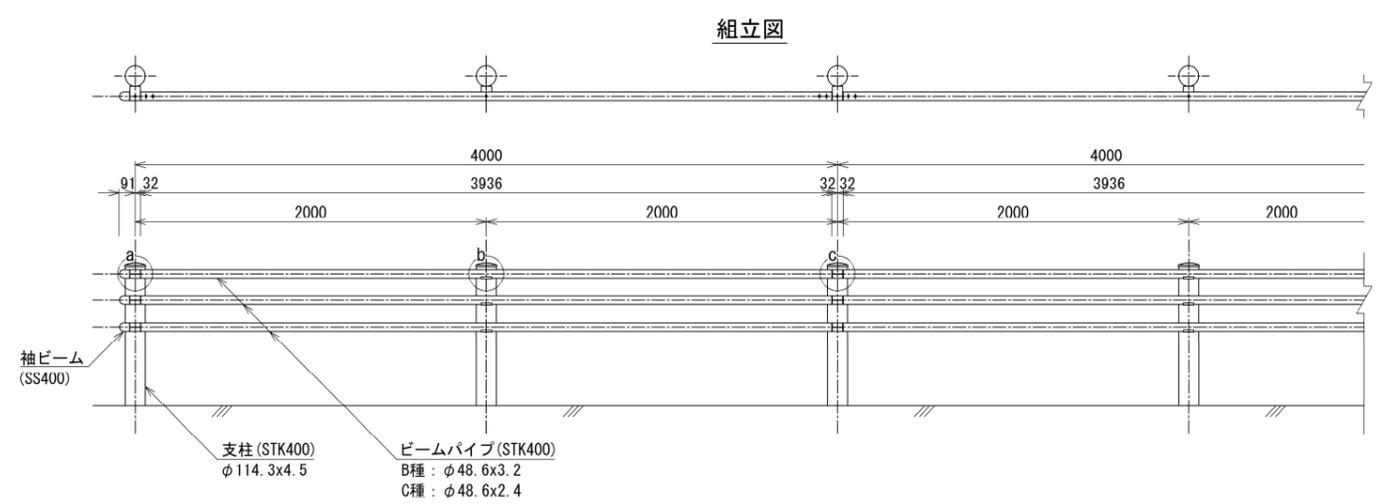


寸法表

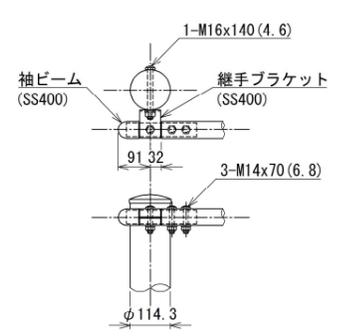
規格	支柱		埋込み深さ (mm)	参考材料コード
	外形×厚さ×長さ (mm)	外形×厚さ×長さ (mm)		
Gp-Bp-2E	φ48.6×3.2×3936	φ114.3×4.5×2300	1500	Z004230002 (塗装)
Gp-Cp-2E	φ48.6×2.4×3936	φ114.3×4.5×2200	1400	Z004230003 (塗装)

記号	Gp - ()p - 2B (種別) (支柱間隔) (構造物用)
名称	歩車道境界用ガードパイプ

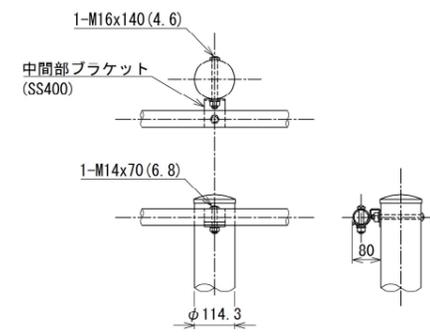
[仕様]
 規格については最新の「防護柵の設置基準・同解説」(日本道路協会)に準拠すること。
 色彩の検討にあたっては、「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(道路のデザインに関する検討委員会、平成29年10月)」を参考に、景観色などを用いる場合は監督員との協議により決定すること。



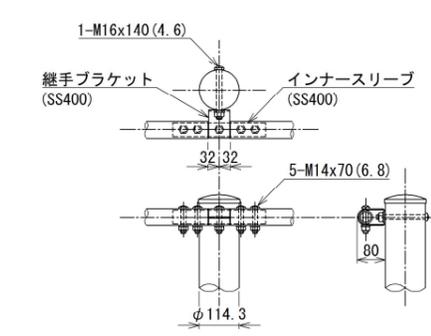
ビームパイプa(端部) (STK400)



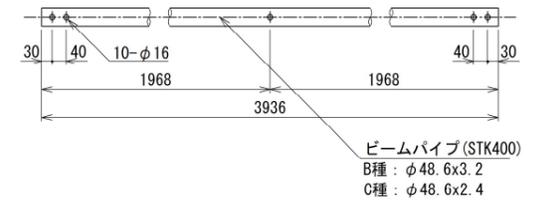
ビームパイプb(中間部) (STK400)



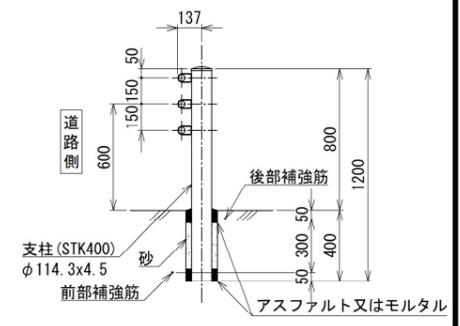
ビームパイプc(継手部) (STK400)



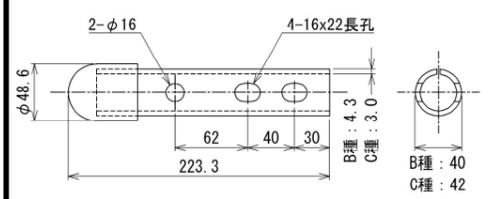
ビームパイプ (STK400)



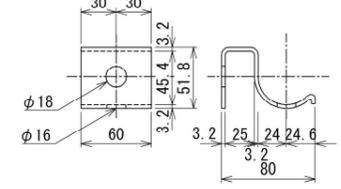
断面図



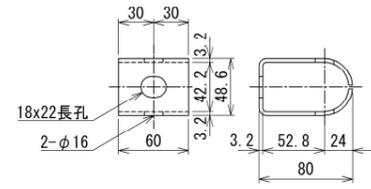
袖ビーム (SS400)



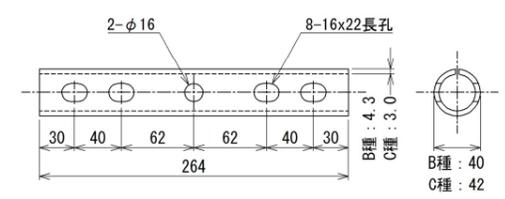
中間部ブラケット (SS400)



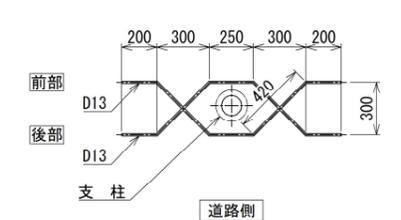
継手ブラケット (SS400)



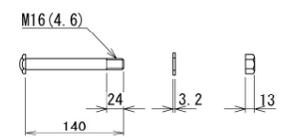
インナースリーブ (SS400)



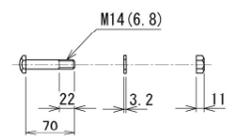
補強筋参考図



ブラケット取付用ボルト



ビーム取付用ボルト



寸法表

規格	支柱		参考材料コード
	外形×厚さ×長さ (mm)	埋込み深さ (mm)	
Gp-Bp-2B	φ48.6×3.2×3936	φ114.3×4.5×1200	Z004230005 (塗装)
Gp-Cp-2B	φ48.6×2.4×3936	φ114.3×4.5×1200	Z004230006 (塗装)

記号	
名称	道路反射鏡

[適用条件]

狭い幅員の道路において、道路端に側溝等がある場合は曲支柱を用いる等、鏡面が路端にくる様に考慮すること。

[仕様]

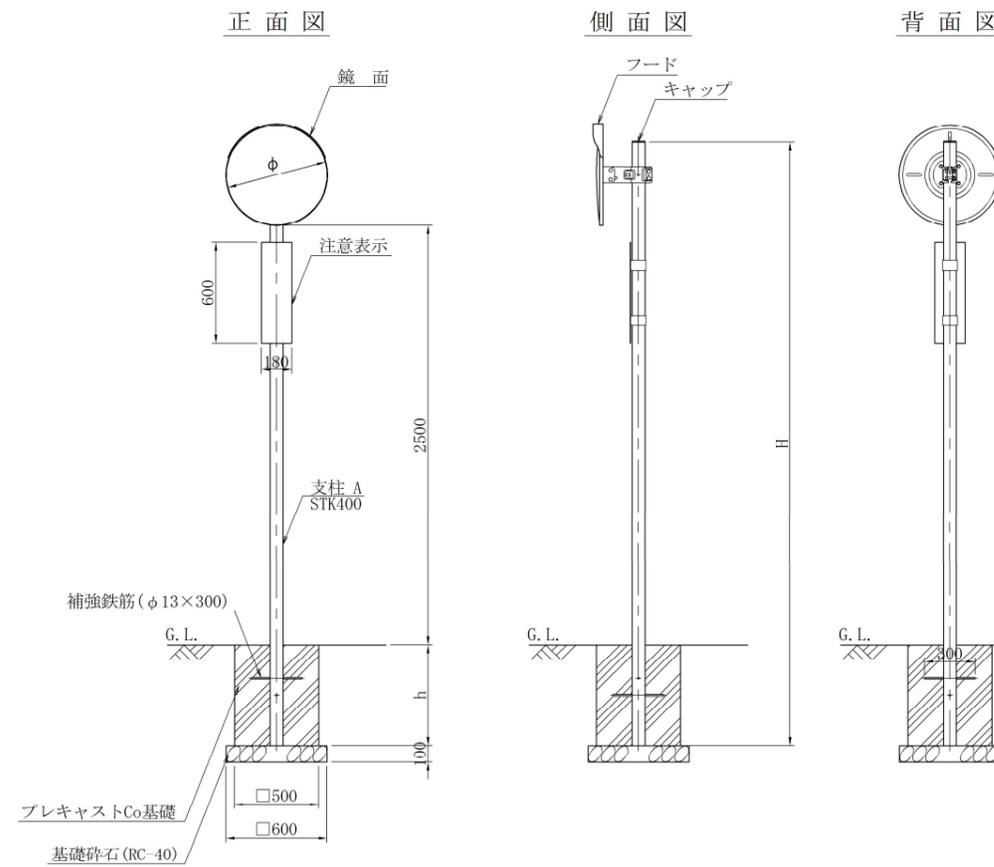
杭基礎形状等、規格については最新の「道路反射鏡設置指針」(日本道路協会)に準拠したものを使用すること。

基礎形状がこれによりがたい場合は、構造計算により構造安定性を確認したものを使用すること。

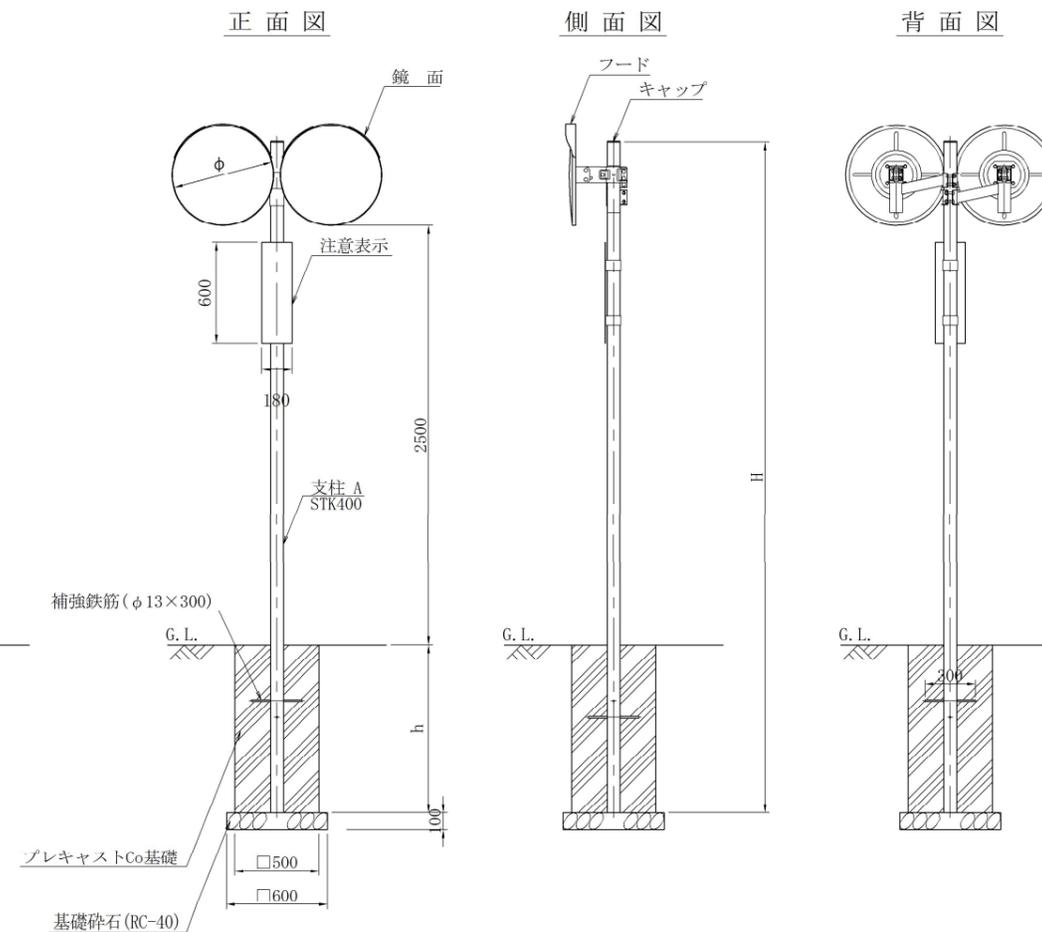
鏡面の材料については、監督員との協議により決定すること。

注意表示の材料については、監督員との協議により決定すること。

1面鏡



2面鏡

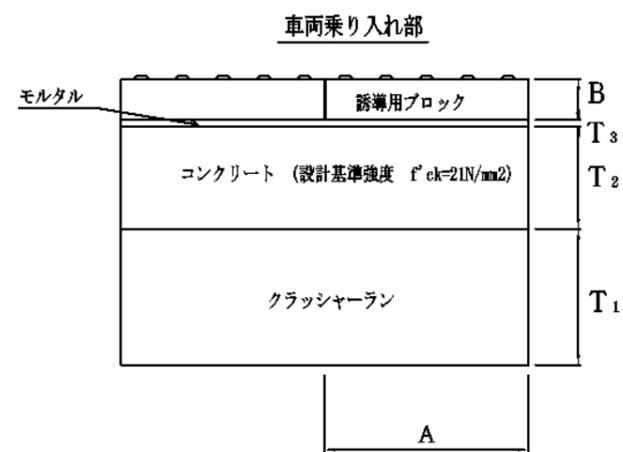
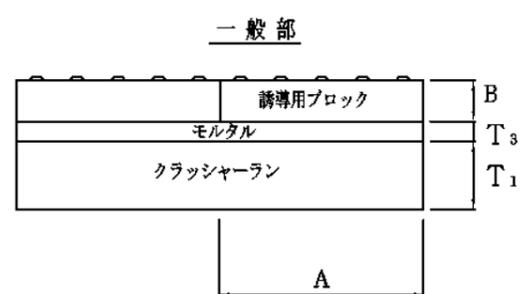
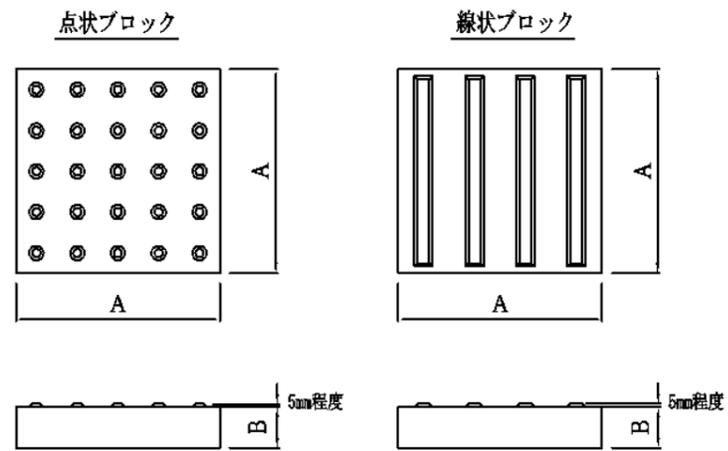


材料表

形状・寸法	材料	道路反射鏡 (面)	キャップ (個)	支柱 (本)	注意表示 (枚)	補強鉄筋 (本)	コンクリート基礎 (m3)	基礎碎石	
								(m2)	(m3)
1面鏡	φ 600	1	1	1	1	2	0.15	0.25	0.03
	φ 800	1	1	1	1	2	0.23	0.25	0.03
2面鏡	φ 600	2	1	1	1	2	0.23	0.25	0.03
	φ 800	2	1	1	1	2	0.30	0.25	0.03

寸法表

鏡面数	鏡面サイズ φ (mm)	支柱 (mm)		根入れ長 h (mm)
		A	H	
1面鏡	φ 600	φ 76.3×t3.2	3,600	600
	φ 800	φ 76.3×t3.2	4,000	900
2面鏡	φ 600	φ 76.3×t3.2	4,000	900
	φ 800	φ 89.1×t3.2	4,400	1,200



記号	
名称	視覚障害者誘導用ブロック JIS T 9251

[適用条件]
 視覚障害者を適切で安全に誘導するために、視覚障害者誘導用ブロックを設置する場合に適用する。
 設置対象道路及び設置個所、設置方法等詳細は、「仙台市視覚障害者誘導用ブロック設置基準」によるものとする。
 車両の乗り入れ区間はブロックの基礎構造を補強すること

- [仕様]
- 線状ブロック：平行する線状の突起をその表面につけたブロックで主に誘導対象施設等の方向を案内する場合に用いる。
 - 点状ブロック：点状の突起をその表面につけたブロックで、主に注意すべき位置や誘導対象施設等の位置を案内する場合に用いる。
 - 材質：コンクリート製ブロック。
 - 色彩：原則として黄色とする。ただし、街の景観等を考慮しこれによりがたい場合は、歩道路面との濃淡により識別できるブロックを使用すること。
 - コンクリート設計基準強度 ($f'_{ck}=21\text{N/mm}^2$)
 - 路盤材は、再生クラッシャーラン(0~40)とする。

[基礎形式区分]

	一般部	車両乗り入れ部		
		第1種	第2種	第3種
T ₁ ：路盤厚	100	100	200	250
T ₂ ：基礎コンクリート厚	—	100	150	200
T ₃ ：敷モルタル平均厚	20	10	10	10

[材料算出基準]
 個数 : $N(\text{個}) = 100\text{m}^2 \div (\text{目地含む} 1 \text{個当りの面積}) \times 1.02$
 基礎コンクリート : $V(\text{m}^3) = 100\text{m}^2 \times T_2$
 路盤工 : $A(\text{m}^2) = 100\text{m}^2$

※平板ブロックの伸縮目地は10mm (1箇所/10m) とする。

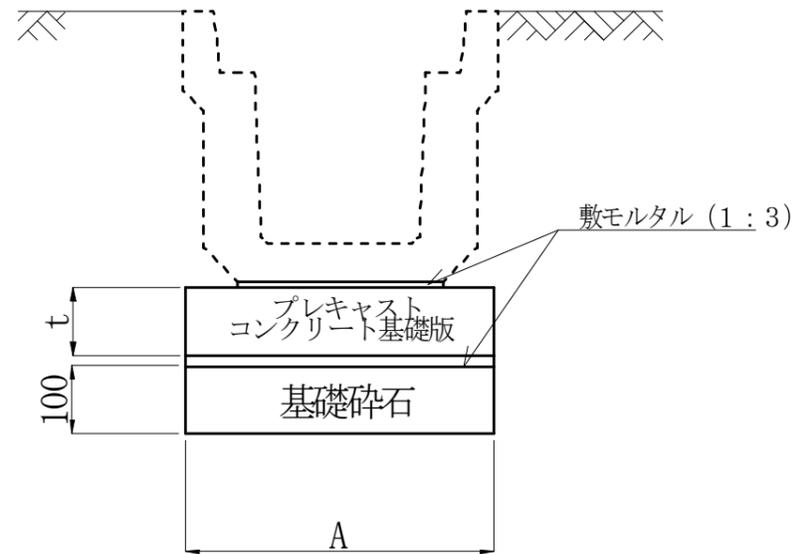
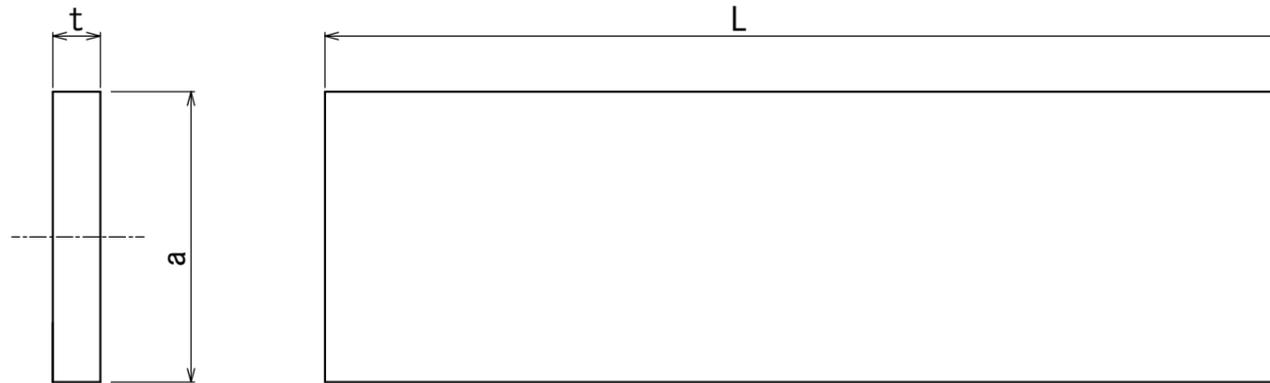
番号	名称	本体寸法 (mm)		材料表 (100m ² 当り)						参考材料コード	備考
		A	B	個数 (個)	基礎コンクリート (m ³)			路盤工 (m ²)			
					一般部	車両乗り入れ部					
1	視覚障害者誘導用ブロック(線状)	300	60	1062	—	10.0	15.0	20.0	100.0	ZM05070010	
2	視覚障害者誘導用ブロック(点状)	300	60	1062	—	10.0	15.0	20.0	100.0		

記号	
名称	プレキャストコンクリート基礎版

[適用条件]
主として、側溝の車両乗入部（1種～3種）基礎に使用する。

- [仕様]
1. コンクリート設計基準強度 ($f'_{CK} = 27\text{N/mm}^2$ 以上)
 2. 基礎碎石（再生クラッシャーラン0～40）とする。
 3. プレキャストコンクリート基礎と側溝との継目をずらして設置すること。

[材料算出基準] 10m あたり
 個数 : $N(\text{個}) = 10\text{m} \div 1 \text{ 本当り長さ}$
 基礎碎石 : 面積 (m^2) = $10\text{m} \times A$
 体積 (m^3) = $10\text{m} \times \text{面積} \times 0.1\text{m}$



番号	規格	本体寸法 (mm)			参考材料表 (10m 当り)					参考材料コード	備考
		a	t	L	参考重量 (kg/枚)	枚数 (枚)	基礎碎石				
							A	(m^2)	(m^3)		
1	500×100	500	100	2000	235	5.0	500	5.00	0.50	ZN20160249	
2	610×100	610	100	2000	286	5.0	610	6.10	0.61	ZN20160250	
3	750×100	750	100	2000	360	5.0	750	7.50	0.75	ZN20220100	
4	860×100	860	100	2000	412	5.0	860	8.60	0.86	ZN20220101	